

事業名	道路ふれあい運動推進費		
細事業名	やまなしロードフェア費	財務コード	131202
担当部課室	県土整備 部	道路管理 課	道路管理 担当 (内線) 7263

調書番号	100
------	-----

I 事業の概要

実施期間	始期 S62 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 道路を利用する人	その対象をどのような状態にして 道路愛護思想への理解が深まっている	結果、何に結びつけるのか 道路愛護思想の普及等による、良好な道路環境づくりの促進
内容	<p>○事業実施団体 「道路ふれあい月間」中の効率的な啓発事業を行うため、県内の道路管理者4団体(国土交通省甲府河川国道事務所、中日本高速道路(株)、山梨県道路公社、山梨県)は「やまなしロードフェア実行委員会」を設置し、事業を実施する。</p> <p>○事業概要 ①甲府駅前での街頭PR(H29年8月1日)・・・やまなしロードフェア実行委員が、啓発品を配布 ②道路清掃(H29年8月1日)・・・やまなしロードフェア実行委員38名が、甲府中心部の道路清掃を実施。 ③放置自転車への注意喚起(H29年8月1日)・・・甲府駅前の駐輪禁止区域内の放置駐輪車両への調査札の取付け。 ④懸垂幕の掲揚(H29年8月1日～H29年8月31日) ※H30年度においてはH30年8月4日に小瀬スポーツ公園において、道路作業車などの展示や体験を実施。</p>		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	PR活動・ホームページ掲載・懸垂幕による周知・のぼり旗による周知・報道機関への情報提供	目標 5項目	5項目	5項目	5項目	5項目	5項目	5項目
		実績(見込)	3項目	4項目	4項目	3項目	4項目	5項目
		達成率	60.0	80.0	80.0	60.0	80.0	100.0
		達成区分	c	b	b	c	b	b
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		167	172	172	155	139	139	125

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	街頭PRや道路清掃等を通じて、道路の役割及び重要性を認識してもらうことで、道路の正しい利用、良好な道路環境づくりの促進につながっている。「道路ふれあい月間」推進標語(国土交通省主催)への積極的な応募も、身近な道路を見つめ直し、道路愛護思想の普及が図られていると考える。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (道路管理者として道路の役割や重要性を周知していく必要がある。)		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	広報啓発活動の内容を変更することにより、道路の役割や重要性を認識してもらえる。		
見直しの余地	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )		
その他	説明			
見直しの必要性	有	良好な道路環境づくりを促進するため、より多くの人に道路の役割及び重要性を認識してもらえるよう、事業内容について様々な工夫を行い、周知の拡大を図る必要がある。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

改善済み	説明	PR活動の場所を、駅利用者を対象とした甲府駅前から、子どもから大人まで多くの人が参加するイベント会場へ変更するなど、PR用品の配布だけでなく、道路バロール車などの道路作業車の展示や、体験コーナーを設ける。
------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。